

四季を楽しむ寄せ植え講習会：毘沙門台南第四公園

安佐南区「花いっぱい運動」にボランティア・スタッフの一人として参加して4年が過ぎました。「街角のちょっとした場所や身近にある公園が四季折々の花の楽しめる場に」との事で、私も近くの公園に花壇を作っています。花を植える事でもっと幅広い世代の人々が楽しめる公園になればいいなと思っています。地域のつながりが薄れる中、花壇作りをきっかけに人と人の輪が広がれば素晴らしい事ではないでしょうか。

わがひまわりグループは、6月15日(日)に花壇を作っている公園で「四季の変化を楽しむ寄せ植えをしてみませんか」というテーマで実演と実技の講習会を開きました。40人以上の方が参加され、わいわいにぎやかに楽しく時を過ごすことができ、皆さん嬉しそうに寄せ植えした鉢を抱えて帰られました。

講習会の終了後、小さな庭でも工夫すれば四季の花を楽しめる参考になればとの思いで、我家でオープンガーデンを開きました。たくさんの方が来て下さり、花の名前や育て方の質問もあり、お茶を飲みながら花談話がはずんでとても有意義な1日になりました。

これからも、いろいろとアイデアを出してコミュニティ活動の推進に協力していきたいと思えます。



安川緑道：中村洋子さん管理の花壇

花を植えるようになったきっかけは7~8年前、草むらだったのを見るに見兼ねて草を抜いたら殺風景になったため、何か植えたらいいなと思って家にある物を植えたのがはじまりです。そのうち市の方からガザニアをもらって植えました。特に、宿根草とかこぼれ種で翌年も咲く花とか、低い花が好きで、同じ種類の花をたくさん植えています。今は、アジサイ、ガザニア、すみれ、オダマキ、アリストロメリア、アイリス、ランタナ、コリウス、ポーチラカ等色とりどりの花で一杯です。

一番心が痛むのは、根こそぎ持ち帰る人が居るとか、犬を平気で花畑に入れてメチャメチャにして帰る人が居るということです。今では、これも仕方ないこととして頑張っています。これからは、両側にたくさんのアジサイを植え、芝ざくらもたくさん植えていきたいと思えます。

そして、散歩中の人達が心和み、少しでも楽しんでもらえる自然美あふれる遊歩道になればと思っています。また、一人一人がルールを守り住み良いきれいな町になればいいなと思っています。



沼田町伴 奥畑地区：奥畑町内会管理の花壇

山と田畑に囲まれた自然と草花と樹木が美しい調和をもたらしている伴地区では、集会所・広場の周囲や地区の中にあるあちこちの空き地に花壇を作り、四季の草花が植えられています。

「農繁期の合間をみて、各自が自宅の畑で実生から育てた苗を持参して植えるのよ」と、メンバーの一人である伊藤さんは話しておられました。

小川の近くの斜面では、4年前に植えられたたぐさのアジサイが大きな花房をつけていました。花色が豊富で珍しい品種もあり、6月~7月の時期が見ごろです。

各家々には桜の木が植えられ、春には桜満開と共に草花がいきいきと咲き、地域全体が自然庭園のように広がり、人と植物が深く関わり暮らしておられます。一度行ってみたいはいかがでしょうか。



長楽寺ふじが丘集会所：ふじが丘花づくりの会管理の花壇

「ふじが丘団地も『花いっぱい運動』をやりたいですね」という記事を3年前に「ふじが丘だより」(自治会発行)に載せました。今年4月、自治会で「花いっぱい運動推進委員会」をつくり、本格的にスタートしました。区役所への手続からわずか6ヶ月で、ふじが丘集会所の花壇はペゴニアの花盛りです。

「花壇の設置」には敷地管理者の承諾があるので、公園、集会所を候補地に考えて、団地の中央で人が集まりやすい上に、花壇もあり水道もある「ふじが丘集会所」に決めて、申請をしました。

土づくりは区役所から赤玉土などの資材をもらい、古い花壇の土を入替えました。花の苗は、「ペゴニア」の赤、白、ピンク色各40個をもらい、花づくりの大好きな数人で植付けをしました。

日常の花壇の世話はボランティアを募集し、小学校児童の下校時に安全パトロールをしている人、集会所を利用する各サークル、団地掃除で集会所担当の班の人に、水遣りや花がら摘みを当番制でしていただけることになりました。

この花いっぱい運動をはじめてうれしかったことは、団地内に「我が家でも花づくりを始めましたよ」といわれる家が増えたこと、「花づくりや野菜づくり」のお友達ができて、団地内の交流が増えたことです。また、集会所利用の小学生も水遣りをしてくれており、花壇をきっかけに世代交流もできるようになりました。

